

一般質問



湖南市活性化を



みらいの風 ● 望月 卓 議員

**問** ウツクシマツ育成への取り組みは。

**答** 庁舎内に新たに設置する樹木や森林政策に精通した専門部署で、外部機関及び市民と協働連携をし、育成事業や保護事業を推進します。自生地の適正な保全活用に向け、行政・民間・樹木の専門機関合同の（仮称）平松ウツクシマツ自生地保全活用協議会」を設立し、共同事業、委託事業の推進を通し、ウツクシマツ復活を目指します。登録商標についても、地域資源の活用や権利確保から、必要な手法を検討します。

ツリーの伐採式を行い、更に3月8日には、30本の若木を自生地内へ移植を行いました。



▲復活へ、30本の若木移植

**問** 三雲駅周辺の今後の開発は。

**答** 本市では、立地適正化計画に基づき、健康福祉、商業、子育て等の都市機能を誘導すべき区域として、「変容するまちづくりと三雲駅周辺の可能性」を見据えながら、三雲駅周辺市有地活用公募型プロポーザル審査委員会の助言や、活用に向けた勉強会などの開催、更に、意欲的な事業者などへのヒアリング、サウンディングを通して、コンセプトや具体的な方針を明確化し、利活用が早期にできるよう取り組んでいきます。



予算編成の思いを問う



自民誠心会 ● 加藤 貞一郎 議員

**問** 昨年の市長選において自らが訴え公約として掲げられた諸施策に対し、これらの実現に向けて、成すべく重い責任の第一歩が新年度予算の編成であると思っております。

**答** 厳しい台所の実情を知りました。コロナ感染症の収束の

そうした中、コロナ禍における厳しい財政環境の下にあっても、身の丈に合った予算であると考える一方、新たな予算編成責任者としてコロナ対策を最優先としてとらえるも「実施していきたい事業」については、積極的に予算に反映することが「生田市長のまちづくりの始まり」だと考えていましたが、市長は新年度予算編成に対して、どのような思いで予算調整に取り組まれたかについて、お尋ねします。

先行きも見えない中にある、自らの公約実現に向けては、今後の財政状況をしっかり見据えた中で財源の確保に努め、令和3年度から4年度にかけて準備を進めていきたいと考えています。

**児童の通学手段について**

**問** 市内の小学校に通う児童の通学距離を検証した時、遠距離通学する子どもたちの安心安全な通学を確保するための手段として、スクールバスの導入についてお尋ねします。

**答** 小学校区、通学距離や移動手段など多方面から検討し、令和4年7月を目途に方針を決定していきます。



▲遠距離通学する子どもたち